

# 益田港 港湾改修事業

平成30年7月

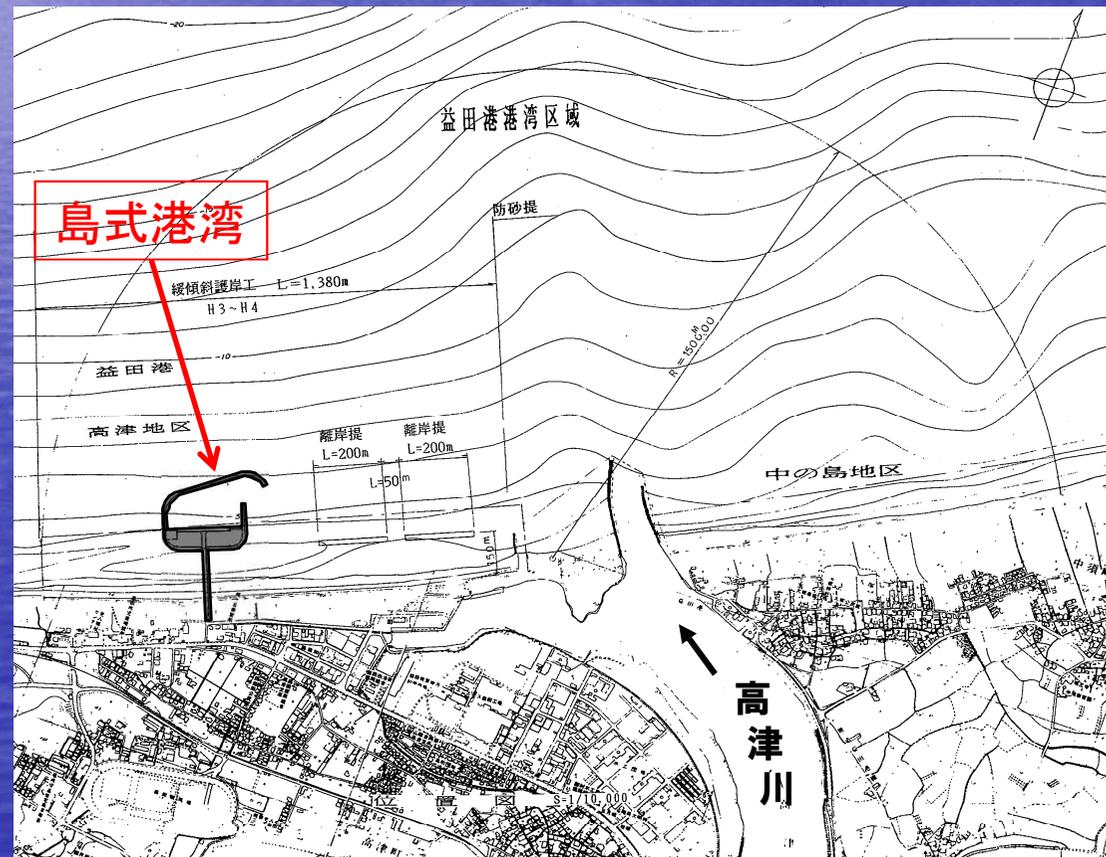
島根県土木部港湾空港課



# 事業導入の経緯

平成6年～

船舶の係留施設不足を解消するため、  
島式港湾の整備を計画していた

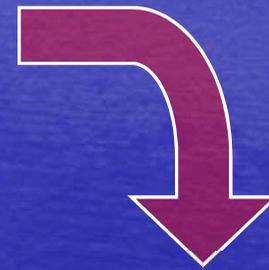


# 事業導入の経緯

平成7年



台風の影響を受け  
地形が変化



砂州の流出により  
波が直接侵入

- (1) 港の利用に支障
- (2) 係留施設不足が深刻化

平成11年



# 事業導入の経緯

土砂の流入で浅くなった航路のしゅんせつ作業。後方が益田港



## 冬の天候不順影響航路に土砂

# 益田港動けぬ漁船

天候不順が続くこの冬、しげで荒れた日本海から運ばれた土砂が、益田港(益田市)の入り口の航路を埋め、漁船が出漁できない状態が続いている。土砂をしゅんせつしても、高波で再び埋まる状況で、漁協の売上高が激減している。(石川昌義)

### しゅんせつ 追い付かず

昨年7月の大雨で高津川の河口にあった砂州が流出。防波堤の役割を果たしていた砂州が崩くなり、沖合から土砂が航路に流れやす

昨年7月の大雨で高津川の河口にあった砂州が流出。防波堤の役割を果たしていた砂州が崩くなり、沖合から土砂が航路に流れやす

波浪注意報が及ぶ。輸送船約3隻の航路がたまり、一時、陸揚げが滞った。

「しゅんせつ作業は、月の実績は、千円で売上高は約150万円だった。今年に入ってからの漁獲は日額が中心で、同港の主力の泊戸漁業は休業状態だ。同支所の橋村祐次支

松江地方気象台によると、1月の益田地区は、波浪警報が2日間、

花柳製菓 買付部 JTB

平成23年2月2日 中国新聞掲載

## ● 事業目的

(1) 漁船の係留施設の確保

(2) 荒天時の港内静穏度の確保

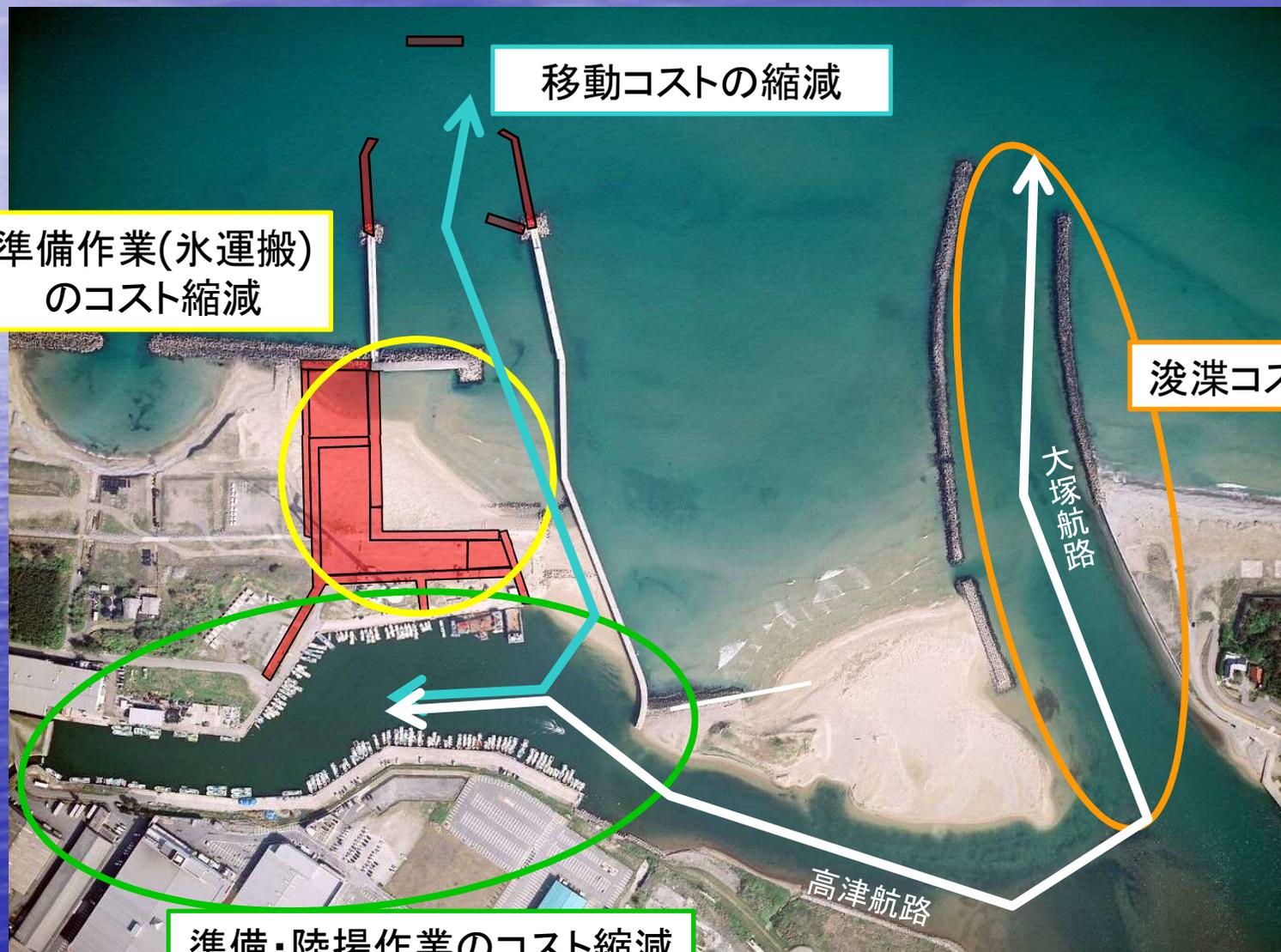
(3) 安全な航路の確保

# 現在の進捗状況



平成30年4月撮影

# 整備効果



平成30年4月撮影

- 事業年度 平成6年度 ～ 平成37年度
- 全体事業費 53.4億円
- 進捗率 63%

費用対効果

$B/C=2.08$

対応方針

継続